



環境経営レポート 18

2020 年度版 (2020.4.1~2021.3.31) 発行:2021 年 11 月 1 日
更新:2022 年 3 月 1 日



よかボス企業



株式会社 池松機工

〒 869-1233 熊本県菊池郡大津町大津 2502-3
T E L : 096-293-7666 F A X : 096-293-8066
H P : <https://ikematsukikou.jp>
Mail : info@ikematsukikou.co.jp

■ ■ ■ 目 次 ■ ■ ■

1. 組織の概要
2. EA21取組体制と責任権限
3. 環境経営方針
4. 環境経営数値目標(単年度及び中期目標)
5. 環境経営計画
6. 環境経営目標の取組結果と達成状況
7. 個別取組状況と評価、次年度の取組
8. その他 2020 年度の安全・衛生・環境の取り組み
9. 環境関連法規等の遵守状況の結果、違反・訴訟などの有無
10. 代表者による全体評価と見直し・指示



1. 組織の概要

- 事業者名 株式会社 池 松 機 工
- 代表者 代表取締役社長 池 松 康 博
- 本 社 〒 869-1233 熊本県菊池郡大津町大津 2502-3
TEL 096-293-7666(代) FAX 096-293-8066
H P <https://ikematsukikou.jp>
E-Mail info@ikematsukikou.co.jp
- 美咲野工場 〒 869-1233 菊池郡大津町大津字東大山内 1835

- 対象範囲(認証・登録範囲) 池松機工 本社・工場 および 美咲野工場
- 対象期間 2020 年度(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)
- 担当窓口 環境管理責任者 岩 崎 真 紀

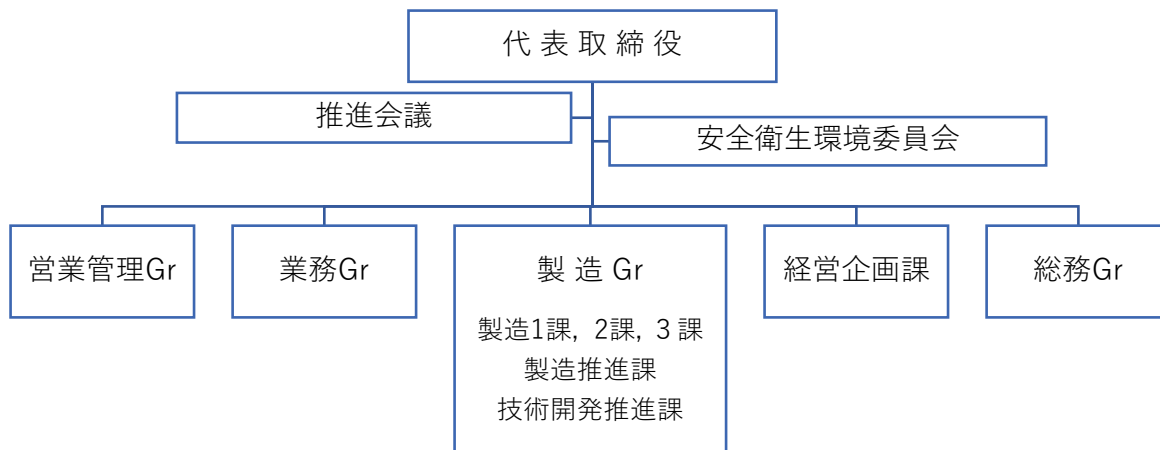
- 事業の概要 精密部品の加工・販売(アルミ・ステンレスなどの金属加工) 、
カテゴリー: 半導体・FPD製造装置、真空装置用精密部品、5軸加工品、大型5面加工品、チャンバー等

- 従業員数 85 名(男性 72 名/女性 13 名) *2021 年 4 月現在
- 認定/認証 地域未来牽引企業 健康経営優良企業ブライツ500(経済産業省)
ヘルスター健康宣言(全国健康保険協会) よかボス企業
- 地域貢献 大津町の祭り(4月つつじ祭り・8月地蔵祭り)への協賛 (本年度はコロナで開催延期)
大津町環境美化の日(年 2 回、6 月/10 月)の清掃活動



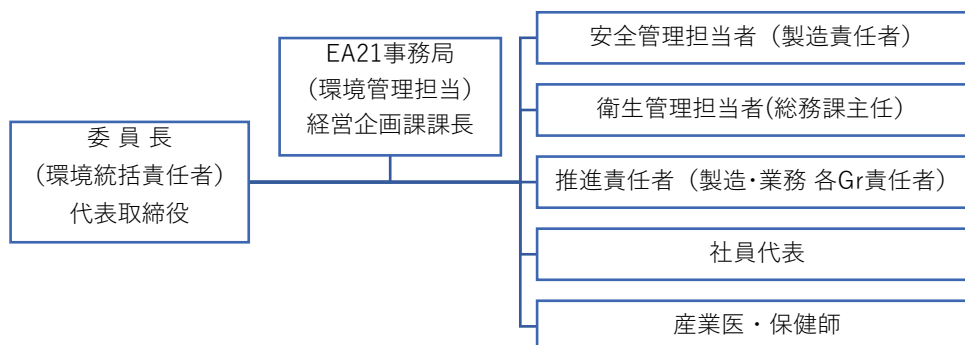
2. EA21 取組体制 と 責任権限

組 織 図：



安全衛生環境委員会：毎月第4木曜日開催

安全衛生環境パトロール：毎月第2火曜日実施



役 割	責 任 権 限 表
環境統括責任者	環境経営の最高責任者、環境方針の制定、環境目標承認、環境経営システムの評価、見直し、環境活動計画の承認
環境管理担当者	環境経営システムの構築・運用の責任者、実績等の代表者への報告、環境目標、環境活動及び環境活動計画書の確認、是正と予防処置管理
安全管理者	設備の安全確認と異常時の対応、緊急事態の発生時の判断、5S推進
衛生管理者	騒音、照度等作業環境測定と報告、衛生環境関連の提案
事務局	環境管理責任者の代行と全般的な推進、環境マニュアルの立案、関連文書類の確認、SDS作成・管理、環境関連法の確認、環境データの取りまとめ、環境活動レポート発行・EA実務全般
推進責任者	部門ごと環境活動の推進、活動の見直しと報告、内部、外部コミュニケーション対応、緊急事態の準備及び対応実務、環境教育に関する計画と実施（各グループ責任者）

3. 環境経営方針

環境理念

限りある大自然(地球)限りある生命を
次代に橋渡しする 私たちの本来の使命を果たす為に
このすばらしい自然環境を守り 夢と希望をもてる
豊かな社会を創造し貢献していきます。

環境経営方針

1. 省エネに取り組み 二酸化炭素排出量を削減します。
2. 生産性の向上により廃棄物の削減を行います。
3. 効率的な作業により水の使用量を削減します。
4. 切削油や有機溶剤の適切な管理を行います。
5. 良質で安全な製品を提供し
6. 環境関連法規等を遵守します。

私たち池松機工は これら環境理念と環境経営方針を元に
環境経営の継続的な改善に努めて参ります。

制定:2003年9月1日 改訂:2022年2月10日

株式会社 池 松 機 工

代表取締役社長 池 松 康 博

4. 環境経営数値目標（単年度および中期目標）

	2016 年度 実績	2017 年度 実績	2018 年度 実績	2019 年度 (基準年)		2020 年度 目標	2021 年度 目標	2024 年度 目標
二 酸 化 炭 素 削 減	(購入電力排出係数 0.442 kg-CO2/kWh /丸紅新電力 平成30 年度実績)							
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	634,705	881,952	726,849	897,748		888,771	879,793	852,861
生産高原単位 (*10 ³)	538	618	641	719		712	705	683
削減目標						-1%	-2%	-5%
電力使用量 (千kwh)	1,627	1,862	1,733	1,980		1,960	1,940	1,881
生産高原単位 (*10)	138	130	153	159		157	156	151
削減目標						-1%	-2%	-5%
廃 棄 物 削 減								
一般廃棄物排出量 (kg)	2,582	2,796	2,820	2,352		2,328	2,305	2,234
生産高原単位 (*10 ³)	219	196	249	188		186	184	179
削減目標						-1%	-2%	-5%
廃油排出量 (kg)	17,100	27,900	14,400	432,00		42,336	41,472	40,608
生産高原単位 (*10 ³)	145	196	127	346		339	332	325
削減目標						-2%	-4%	-6%
廃プラ排出量 (kg)	7,395	4,675	3,820	5,030		4,929	4,829	4,728
生産高原単位 (*10 ³)	63	33	34	40		39	38	37
削減目標						-2%	-4%	-6%
木くず排出量 (kg)	13,860	12,580	18,440	11,400		11,172	10,944	10,716
生産高原単位 (*10 ³)	117	88	163	91		89	87	86
削減目標						-2%	-4%	-6%
水 使 用 量 削 減								
水使用量 (㎡)	1,329	1,407	1,311	1,441		1,430	1,410	1,370
生産高原単位 (*10 ³)	12	10	12	12		12	11	11
削減目標						-1%	-2%	-5%
有 機 溶 剤 使 用 量 削 減								
有機溶剤使用量 (㎡)	646	758	686	886		877	859	833
生産高原単位 (*10 ³)	6	5	6	7		7	7	6
削減目標						-1%	-3%	-6%

5. 環境経営計画

項 目		分 野	活 動 内 容	担当/時期
CO2 削 減	省エネ化 作業効率 電力使用量 削減	・建屋の保守 ・光熱設備の保守 ・工作機械の省エネ化	事務所棟の壁塗装、食堂LPガス撤去、全換気扇の交換、大型複合旋盤工作機械の導入、工作機械の配置換え、不具合削減	製造 年間
資源 の 有効 利用	廃棄物削減 リサイクル 促進	・DIYによる補修 ・分別と再利用	フォークリフト点検雨除け製作、期間間近備蓄品の配布、アルミ切粉の分別、アルミ端材利用量の集計報告	製造 年間
	廃油削減	・切削液の腐敗防止	エマルジョンブレーカーの利用、pHチェック	製造 年間
	水の削減	・ムダ水防止	切削油自動給油システムの活用、流水時間の短縮	製造・業務 年間
化学 物質 管理	有機溶剤／ 切削油管理	・購入量把握 ・ムダ防止	年間購入量チェック、小分けビン利用、こぼれ注意シール、名称ラベル表示、SDS壁管理、リスクアセスメント	製造・業務 年間
車輛 エコ	環境負荷 低減 燃費向上	・車両保守 ・社内点検修理 ・使用ルール遵守	年次点検講習会の実施、フォークリフトの運転講習、電動リフトの夜間充電、納品回数の削減、交通安全のぼり設置	製造・業務 営業 年間
安全 環境 法令 遵守	労働安全 衛生管理 健康改善 環境保護	・法令遵守 ・健康経営 ・地域環境保守	安全衛生環境パトロール、安全衛生環境委員会、コロナ完全防止対策、美化作業、BCP対策、騒音・照度測定の研修	製造・業務 営業・総務 年間

6. 環境経営目標の取組結果と達成状況

	2019年度 (基準年)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	取組結果 (目標比)	取組結果 (削減率)	達成 状況
二酸化炭素削減（購入電力排出係数 0.442 kg-CO ₂ /kWh /丸紅新電力 平成30年度実績）						
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	897,748	888,771	775,448	95%	5% 削減	○
生産高原単位(*10 ³)	719	712	683			
削減目標		-1%				
電力使用量（千kWh）	1,980	1,960	1,716	95%	5% 削減	○
生産高原単位(*10)	159	157	151			
削減目標		-1%				

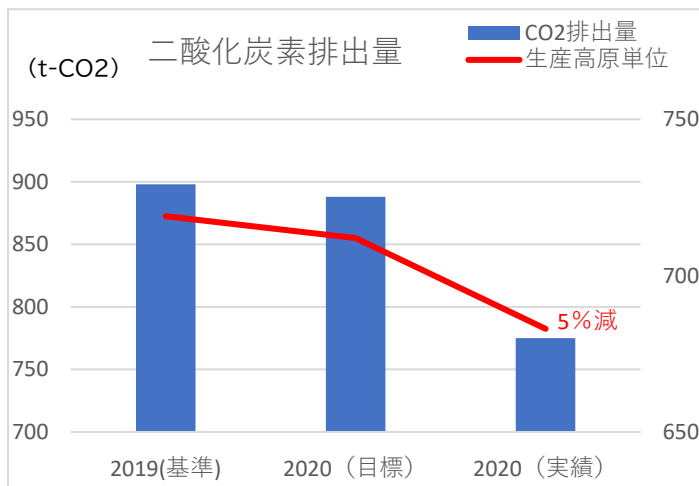
廃棄物削減						
一般廃棄物排出量 (kg)	2,352	2,328	2,310	108%	8% 増加	△
生産高原単位(*10 ³)	188	186	203			
削減目標		-1%				
廃油廃棄物排出量 (kg)	432,00	42,336	35,100	89%	11% 削減	○
生産高原単位(*10 ³)	346	339	309			
削減目標		-2%				
廃プラ廃棄物排出量 (kg)	5,030	4,929	3,365	75%	25% 削減	○
生産高原単位(*10 ³)	40	39	30			
削減目標		-2%				
木くず廃棄物排出量 (kg)	11,400	11,172	12,560	121%	21% 増加	×
生産高原単位(*10 ³)	91	89	111			
削減目標		-2%				

水使用量削減						
水使用量 (m ³)	1,441	1,430	1,498	108%	8% 増加	△
生産高原単位(*10 ³)	12	12	13			
削減目標		-1%				

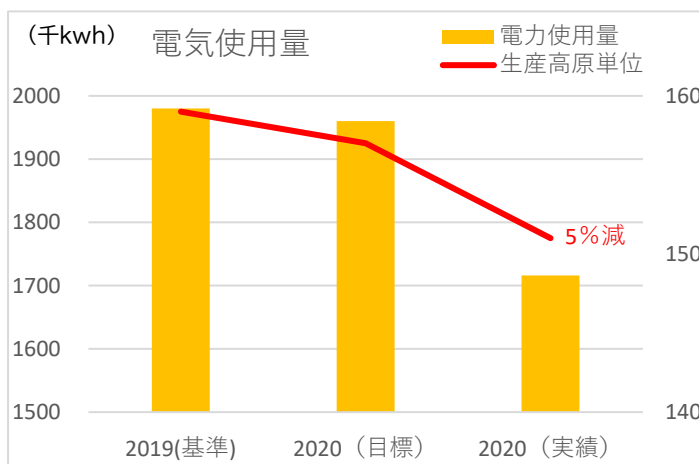
有機溶剤使用量削減						
有機溶剤使用量 (m ³)	886	877	996	112%	12% 増加	×
生産高原単位(*10 ³)	7	7	9			
削減目標		-1%				

7. 個別取組状況と評価、次年度の取組

二酸化炭素排出量



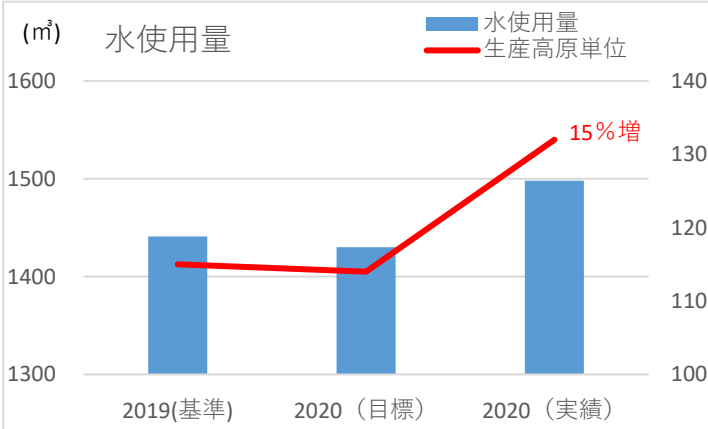
省エネ型 最新 工作機械の導入



再生エネルギーの活用
(太陽光パネルの設置)

取組内容	・ 省エネタイプ大型工作機械の導入 ・ 社内換気扇を全交換(空調管理) ・ 太陽光エネルギーの利用継続 ・ 生産効率改善のための工作機械の移動 ・ 三次元測定 3Dプロットシステムの導入 ・ 事務所窓を強化ガラスに入替
取組評価	CO₂ 排出量削減への取組結果は5%の削減になりました。当社では CO₂ 排出量の 98%が電気使用量になりますが、省エネ型工作機械の導入や、生産工程の集約化を目的とした機械の移設を行い、電力使用量を削減しました。
次年度の取組	現在 取組中の『DX』拡充の視点から、生産工程の自動化・省人化を図り、CO₂ 排出量の削減に取り組めます。2021 年度より『SDGs』を全社体制で取り組み、再生エネルギーの充実化を図ります。研修等による人材能力の向上を行い効率化、多能工化による CO₂ 排出量の削減を行います。

廃棄物排出量						
(kg) 廃棄物排出量 一般廃棄物排出量 生産高原単位 3000 220 2000 200 1000 180 0 160 2019(基準) 2020 (目標) 2020 (実績) 8%増		 アルミの廃材の仕分け (形状別に分類してリサイクル)				
取組内容	・ アルミ端材利用促進 ・ キュービクル防錆塗装 ・ 美化作業 ・ 期限間近備蓄食料品の配布(フードロス) ・ アルミ廃材リサイクル促進					
取組評価	排出量総量としては減少しましたが、生産高原単位では基準年度より8%の増加になりました。2020年度はコロナが流行したため、除菌・清掃用品の購入や、ウエス、ペーパー等の使い捨てが増え、廃棄物の増加につながりました。					
次年度の取組	廃棄物の分別・リサイクル化の仕組づくりを促進します。廃棄場所に、絵や記号などを利用した表示やポスターを作成・掲示。全体での協力と意識の向上に努め、廃棄物の削減につなげます。					
切削油 の 使用量 と 管理状況						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	実績	実績	実績	実績	実績	実績
切削油使用量 (kg)	17,100	27,900	14,400	43,200	35,200	
適切な管理のための チェック項目	購入量把握	○	SDS入手・表示	○	蒸発、こぼれ対策	○
	保管場所、保管状況	○	ラベル表示	○	PRTR非該当	○
	作業衛生環境	○	マニフェスト発行	○	処分後の再利用化	○
・毎月の安全衛生環境パトロールにて確認。						
	・ これら切削油は、水と混合して使用する「水性切削油」の廃液にあたります。排出量の100%を指定された処理業者に引き渡し、中間処理業者の方で、焼却再利用されます。今期、新しい工作機械を導入したり、従来からある工作機械の移動などを実施したりしましたが、これに伴い、切削油の入れ替えなどが多く発生しました。しかし、機械の状態や、切削油等のペーパー管理等をしっかりと行った結果、水溶性切削油の腐敗などもなく、ムダも最小限にて管理できておりました。次年度も、新たな工作機械の導入が予定されていますが、環境に対応した最適な切削油の選別と、適切な利用、管理を実施して参ります。					

水使用量			
(m³) 水使用量  ■ 水使用量 ■ 生産高原単位 15% 増 2019(基準) 2020 (目標) 2020 (実績)		オイルミキサー 切削液と水をムダなく一定の濃度に自動調整	
取組 内容	・ 節水シール貼付		

8. その他 2020 年度 安全・衛生・環境 の取り組み

毎月	安衛環パトロール、安衛環委員会、コロナ感染対策(アルコール補充、検温チェック、間仕切設置 他)	 コロナ感染対策 (サーマルカメラ) (アルコール手指消毒薬) AEDの設置 
4 月	AED 設置、建物壁塗装、LPガス廃止、大型車通行案内表示、新人安全環境教育、フォークリフト点検講習	
5 月	環境エネルギー調査、Jアラート訓練、浄化槽点検、マニフェスト報告	
6 月	美化作業、節水シール貼替、全換気扇入替、害虫対策、有機溶剤講習会、有機溶剤SDSの掲示	
7 月	在宅勤務実施、消防設備点検、浄化槽清掃、電柱絡み植物伐採、フォークリフト雨除設置	 美化作業  工場 床の塗装 (防汚、防滑)
8 月	工作機械の配置移動、KYT研修会、駐車場電柱の植物伐採	
9 月	美咲野ハチの巣除去、台風対策、交通安全週間ノボリ設置	
10 月	感染 BCP 研修、美化作業、工場の壁と床の塗装	
11 月	駐車場除草作業、インフル予防接種、期限間近備蓄品の配布	 工場の 壁面塗装 (作業環境対策)  全面塗装後
12 月	役職者研修会、浄化槽水質調査、沿道沿いの樹木伐採、太陽光発電量調査	
1 月	EA 審査、浄化槽清掃、車両ドラレコ装着、キュービクル防錆塗装、廃油置場横に油漏れ防止柵を設置	
2 月	強化ガラスに入替、ロードスイーパー導入	
3 月	備蓄品補充、騒音測定、健康診断、健康経営の認証授与、沿道沿いの樹木伐採	

9. 環境関連法規等の遵守状況の結果、違反・訴訟などの有無

環境法規一覧表・遵守評価表 【当社関連法規等】

区分	適用法・条例	対象品	遵守評価
水 質	浄化槽法	浄化槽	○
音・振動	騒音振動規制法	空気圧縮機・送風機	○
大 気	フロン排出抑制法	業務用大型エアコン	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェスト管理	○
	水銀に関する水俣条約	蛍光ランプや電池等	○
リサイクル	家電リサイクル法	冷蔵庫、洗濯機、テレビ	○
	小型家電リサイクル法	パソコン・周辺機器等	○
有機溶剤	毒物及び劇物取締法	メタノール	○
化学物質	RoHS2 指令, REACH 規則	特定有害物質の未使用	○
消 防	消防法施行令	消防・防災設備機器	○

池松機工は環境関連法規を遵守し、環境方針に沿って生産活動や環境保全活動を進めております。
過去 3 年間を通して、環境関連法規などへの違反、訴訟および関係機関や近隣周辺住民からの指摘事項や苦情は 1 件もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

環境方針	環境目標	環境活動計画	経営システム体制
体制の変更に伴い一部変更	見直し実施	業務内容に応じ計画する	仕組みの充実度を図る
全 体 評 価			

2020年度は、第1工場の屋根工事や、外壁及び床塗装、そして第2、第3工場・出荷室などの外壁と床塗装のリニューアルを計画、実施いたしました。熊本地震の補修も兼ねた工事でしたが、断熱効果の高い塗装や第1工場のアルミ材を使用した屋根工事などは、CO2削減に配慮した事業となり、社員のモチベーションにもつながったと理解しております。

一方、スマートファクトリー計画の下、全社生産性向上を旗印に 美咲野工場への工作機械集約化を進めました。さらには（長時間無人稼働）を実現すべく「パレットシステム」を導入しました。このシステムにより2台の工作機械を連結することが可能となり、長時間稼働へ大きく前進しました。また、「見える化システム」を導入し、長い年月検討を重ねてきた 美咲野-第3-第5各工場の主力設備を“見える化”することが実現しました。これにより、生産性向上はもとより 機械トラブル対応などのダウンタイムの短縮にもつながり、DXへの取り組みの一環となりました。

これまで、立形マシニングセンター中心から、5面加工機、横形マシニングセンター、同時五軸マシニングセンターと、最新設備投資を切れ目なく行って参りましたが、今年度は 複合加工機を初めて導入しました。技術の高度化を更に進め、マーケット拡大に注力したいと思っております。今後も質の高い仕事を担保するためにも、継続した最新設備の導入や技術教育を進めて参ります。

このような状況の中、今年度も「一人ひとりが主役」との合言葉により、全社一丸となってEA21に取り組んで参りました。その結果として着実に期待を持てる成果に繋がりましたが、一方では 補修事業なども重なり課題も残っております。これを受け更なる改善が求められますが、全社員参画型で取り組みを深め、来年度の新たな環境経営戦略を掲げるため、熟考を重ねてまいります。

2021年11月1日

株式会社 池松機工
代表取締役 池松 康博



IKEMATSU

SDGs

Sustainable
Development
Goals

